

(令和2年12月28日)

12月27日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに2名の方、市内151及び152例目(県内203及び205例目)となる感染者が確認されました。

この方々は、いずれも松江市在住です。

151例目の方の年齢・性別につきましては、本人のご意向により、また、現時点で接触者がおおむね把握できていることから、公表を差し控えさせていただきます。

151例目の方は、148例目の濃厚接触者として、昨日12月27日にPCR検査を実施し、陽性であることが判明いたしました。

この方は、12月23日に鼻づまり、26日に味覚異常の症状がありました。

現在も症状が続いているとのことです。

152例目の方は、30歳代の男性です。

12月24日に咳、26日に38度台の発熱があり、27日に市内の医療機関を受診しておられます。同日、PCR検査を実施し、陽性であることが判明いたしました。

現在は、37度台の発熱と咳の症状があるとのことです。

患者は、現在保健所の指導の下に自宅で待機し、本日12月28日、感染症対策を講じた医療機関に入院予定です。

現在、行動歴調査及び濃厚接触者の調査を実施しており、まずは発症日2日前以降の感染可能期間に接触があった方の把握を進めています。

151例目の方について、昨日ご説明いたしました146例目から150例目の方々の共通の立寄先での行動歴はありませんでした。また、感染可能期間に勤務先へ出勤されていましたが、調査の結果、勤務先での濃厚接触者はありませんでした。

2週間前以降の期間において、県外への移動歴や県外から来県された方との接触はないと伺っております。

152例目の方について、感染可能期間に勤務先へ出勤されています。また同じ勤務先の方々と会食の機会があったことを確認しております。

2週間前以降の期間において、県外への移動歴や県外の方との接触がございます。

今後も調査結果を踏まえ、必要に応じて幅広の検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

さて、Go To トラベルは、本日28日から来年1月11日まで全国一斉に運用が停止されますが、国内の新規感染者は、今もなお過去最多の水準が続いております。本市におきましても、12月にはいつ今日まで、22人の新規感染者が判明しており、より一層の警戒が必要な状況となっています。

新型コロナウイルス感染症が流行してから、初めての年末年始を迎えることとなりますが、市民の皆様には、これまでどおり感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」のほか、「三密の回避」や「換気と加湿」などの感染対策を徹底いただきますとともに、穏やかな年末年始をお過ごしいただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。